

授業科目 アスレティックトレーナー論

【担当教員名】 柵木 聖也	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GI0】

アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。

【学習目標】

1. 日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレティックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけについて学ぶ。
2. 諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容について学ぶ。
3. 我が国におけるアスレティックトレーナーの担うべき任務とその役割について学ぶ。
4. 他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性について学ぶ。
5. スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理について学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックトレーナーとは（１）日体協における養成事業の概要		
2	アスレティックトレーナーとは（２）我が国のアスレティックトレーナーの歴史的背景		
3	アスレティックトレーナーとは（３）トレーナーの起源と諸外国の実情との比較		
4	アスレティックトレーナーの業務（１）アスレティックトレーナーの任務、役割		
5	アスレティックトレーナーの業務（２）アスレティックトレーナーの具体的業務内容		
6	チームスタッフとの連携・協力（１）サポートチームにおけるメディカルスタッフ		
7	チームスタッフとの連携・協力（２）コーチ、ドクターの役割とその連携・協力		
8	チームスタッフとの連携・協力（３）その他のチームスタッフとの連携・協力		
9	組織運営と管理（１）スポーツ組織全体に対する理解		
10	組織運営と管理（２）アスレティックトレーナーの組織・体制づくりとその運営		
11	組織運営と管理（３）記録およびデータ採取の必要性和その方法		
12	アスレティックトレーナーと倫理（１）社会全体を支える秩序		
13	アスレティックトレーナーと倫理（２）アスレティックトレーナーの社会的立場と貢献		
14	アスレティックトレーナーと倫理（３）アスレティックトレーナーに求められる倫理観		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト1	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会	
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

レポート課題にて評価する。

【履修上の留意点】